



『思いやりの心をはぐくむ』

「おはよう。」と声をかけると、「おはようございます。」と張り裂ける様な声が返ってきます。

子どもたちの朝の笑顔は、冷たい空気の中に太陽が顔を出した時のようにきらきら光って、周りを温めてくれる様に感じられます。

朝から笑顔で元気一杯なのは、きっと家庭が明るく、和やかで気持ち良く送り出されたのだと思います。

家庭は安らぎの場と言われています。一日の疲れや嫌な事は家庭で話し合ったり、笑ったりすることで解消されていくものです。子どもにとっても家族の人にとっても同じではないでしょうか。

また、子どもが育つためには、家族と同様に近所や地域の方の影響が大きいと思います。子どもは放課後や休日には、家の周りで過ごすことが多いと思います。そんな時に、近所の方々と出会い、交流しているうちにいろいろと考え、良い事と悪い事の判断を身につけていくものだと思います。

鏡野町では休日を利用し、地域の方が指導者となり料理教室や工作教室等の活動が各地区で行われています。この様な活動に参加し、大人との心のふれ合い、肌のふれ合いをすることで、他の人の考えや思いを感じ取り、周りの人の心がわかるような子どもが育っていくものだと思います。

先日のですが、とても嬉しい光景に出会いました。怪我をし、松葉杖で登校している一年生がバスから降りてきました。私がランドセルと水筒を持ち、一緒に教室に行っていると、同じ班の児童が、「先生、私がカバンと水筒を教室まで持って行ってあげる。」と進んで持ってくれました。また、ほかの児童は下駄箱に入っているシューズを黙って出し、揃えてくれました。

この様に相手の立場を考え、思いやりの心で人に接することのできる鏡野町の子が増えるよう願っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
鶴喜小学校 磯山 雅史

のびのびひろば

たのしかったね たなはたかい

7月7日(木)に、いきいきカフェのおばあちゃん達をお招きしてたなはた会をしました。きれいに飾った笹飾りの前で、一緒に歌を歌ったり紙芝居や風船バレーをして遊んだ後は、ジャグリングや踊りを見たりしました。すみれ組(1~2歳児)のおともだちが肩たたきを始めるとおばあちゃん達はとっても嬉しそうに目を細めてたたいてもらっていました。最後に、さくら組とたんぽぽ組がペットボトルで作った風鈴をれんげ組のおともだちがプレゼントしてたなはた会は終わりました。

「またおばあちゃん達と一緒に遊びたいなあ」手を振りながら子どもたちが名残り惜しそうに話していました。
(奥津保育園)



つぶやき

早寝、早起きの話をした日の午後の事

「世界中で一番早起きはなあ、すずめや鳥なんぞ。」
「さかなが一番早起きなんぞ。なんでゆうたらなあそりゃあ目をあけて寝とるんじゃもん。」



短冊に書かれたお願いは…

○ライオンになりたい
○早く大きくなりたい
○いつまでもおかあさんといられるように
○宝くじが当たるように??